

【学校情報】公立・全日制普通科高校／1学年約200名

進学実績（令和5年度）：大学短大12.5%/専門学校43.3%/就職37.5%

エンカレッジスクール・海外学校間交流校指定校・スキルアップ推進校・学力向上研究校

取り組みの 背景

平成15年から全国で初めてのエンカレッジスクールとして学校再編を実施

エンカレッジスクールとしての学び直しに特化した授業を行っていたが入学時から卒業時のD3の割合が変わっていないことを把握

生徒の進路実現のため、基礎学力定着に向けた指導、を目指し3年前より抜本的な改革を行っている

取り組み

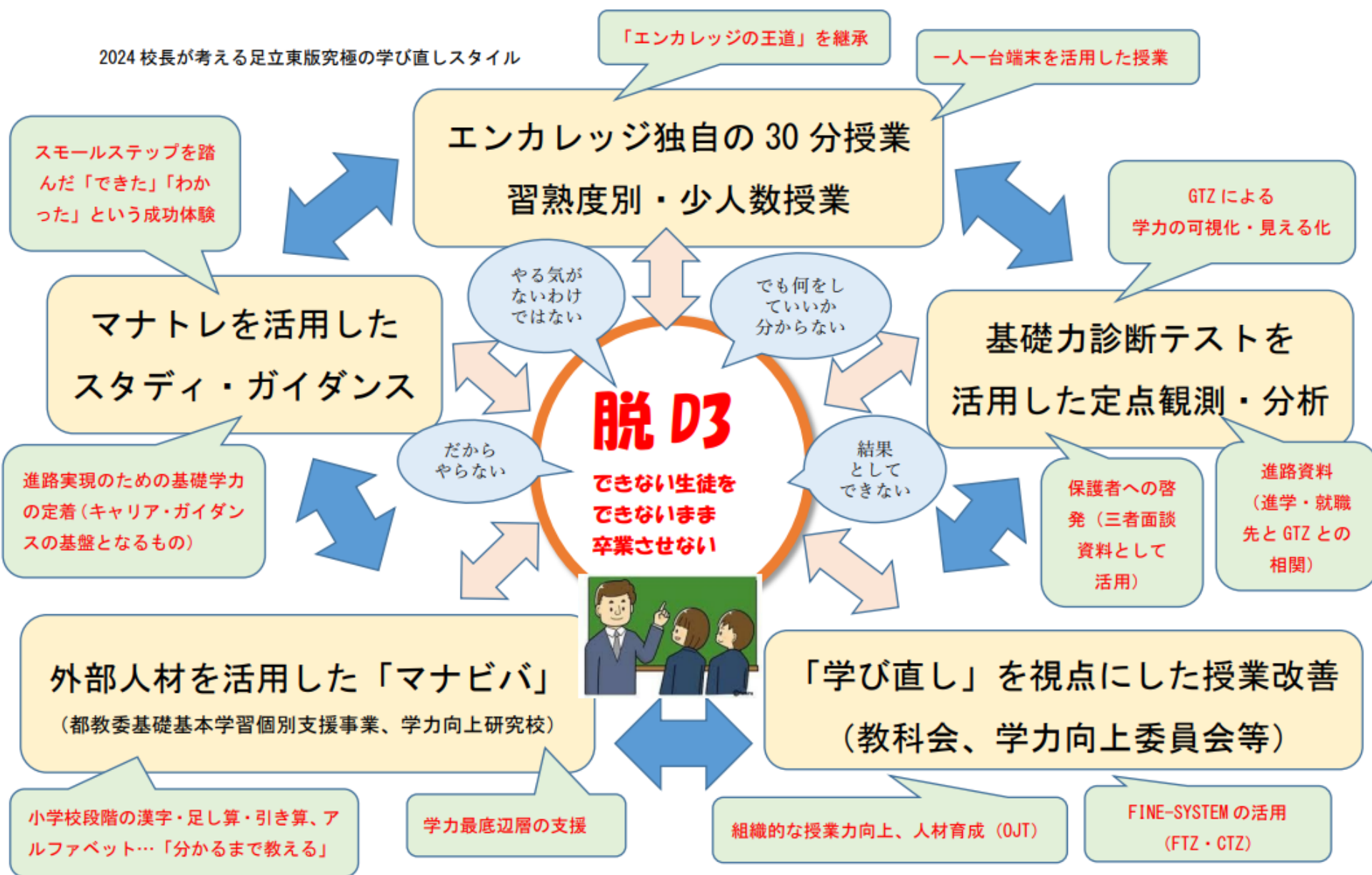
“脱D3”を合言葉に「できない生徒をできないまま卒業させない」ために5つの施策を実施

[具体的な取り組み]

- ・エンカレッジ独自の30分授業 習熟度別・少人数授業
- ・マナトレを活用したスタディ・ガイダンス
- ・基礎力診断テストを活用した定点観測・分析
- ・「学び直し」を視点にした授業改善（教科会、学力向上委員会等）
- ・外部人材を活用した「マナビバ」（放課後個別学習支援）

手ごたえ 今後の展望

- ・国語のGTZが入学時D2+からC3-まで上昇（3ランク上昇）
- ・GTZの意味も知らなかった生徒が脱D3を合言葉に学習へ取り組むようになり、学習姿勢が定着してきた
- ・先生方が基礎力診断テストを分析し、データを基に授業改善や面談活用できるようになった



“厳しく教え、優しく育てる”

入学者選抜に学力検査を
実施しない

・学ぶ意欲を重視した入学者選抜（面接・作文等）

定期考査は実施しない
（確認テストを実施）

・日常の学習活動による学習評価

基礎基本の定着を重視した
授業体制

【習熟度別学習】

原則として2クラス4展開、4段階編成

【少人数指導】

原則として2クラス3展開

第1学年は30分授業を実施

・集中力の維持と学習効果の最大化
・（国語・数学・英語・地歴・公共）

二人担任制（第1・2学年）

・きめ細かな指導と指導の徹底

取り組みの詳細

以前までの 状態

- ・ 学校設定科目として国数英の学び直しを目的に朝10分間のスタディガイダンスを実施
- ・ やることが学年によって異なり、取り組みが形骸化していた

改善策

- ・ スタディガイダンスで取り扱う教材をマナトレに統一
- ・ マナトレまとめテストをformsでデジタル化（教員の採点負担軽減）
- ・ 高得点者の表彰やまとめテストの躓きがみられた問題を掲示

学校全体で学び直し指導の体系化

【先生からのお声】

躓きを可視化し授業改善に繋がった。

まとめテストをデジタル化したことにより学び直し指導で採点負担の軽減とタブレット活用推進に繋がった



日々の学習を“褒める”
各クラスに掲示し、友達の頑張りを生徒が意識し
次回に向けた動機付けを行う

第1回マナトレまとめテスト（国語10～7級）



満点獲得者

4ケタ番号	氏名	4ケタ番号	氏名



成績優秀者（得点率 90%以上）

4ケタ番号	氏名	4ケタ番号	氏名



Let's study!!（正答率 70%以下の問題はコレだ!!要復習!!）

日頃の会話に
取り入れよう！

問題2 次の語に対応する尊敬語と謙譲語を、後の選択肢から選びなさい。

- (3) 見る（尊敬語）答：ご覧になる 正答率 55% (4) 見る（謙譲語）答：拝見する 正答率 54%
(5) 来る（尊敬語）答：いらっしゃる 正答率 65% (6) 来る（謙譲語）答：うかがう 正答率 61%

Point!! 尊敬語は相手を高める言葉。謙譲語は自分を低める言葉。

問題3 次のことばの意味を後の選択肢から選び、ア～オで答えなさい。

- (1) 立つ瀬がない 答：恥ずかしくて人に合わせる顔がない。 正答率 63%
(3) 決まりが悪い 答：体裁が悪く、なんとなく恥ずかしい。 正答率 55%
(4) 面映い 答：くすぐったい感じがする。 正答率 53%

クラス毎に競うことで
クラスの団結力が強まる



正答率 70%以下の問題はコレだ!!要復習!!

問題6 次の英語の文を日本語にしたとき、正しいものをア～ウから選びなさい。

- (1) You are welcome. 答：ウ 正答率 62% ※イを選択した人が 59 人いました（悲）
ア：ありがとう。
イ：あなたが来た。
ウ：どういたしまして。

躓いた問題を先生がピックアップ！
掲示物を見ることが復習に繋がります。
生徒一人一人をよく見て指導されているからこそ
先生からの一言コメントに温かみを感じます！



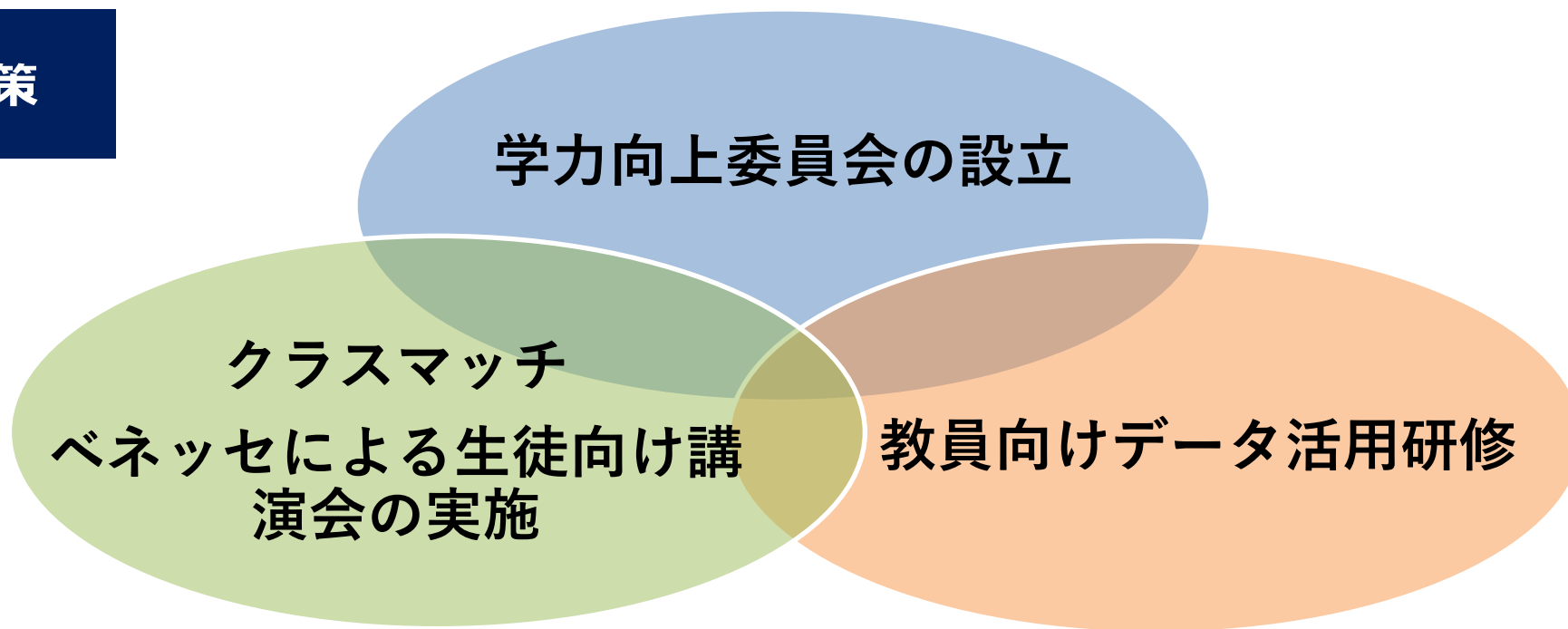
お取り組みの背景

- ・ 以前までは基礎力診断テストは入学時1回だけしか実施していなかった
- ・ 教科分析もなく、結果帳票を生徒に返すだけの状態

お取り組みきっかけ

- ・ 試験的に3年生に基礎力診断テストを実施したところ、D3の割合が入学から変化していないことが判明
- ・ 当時約90%がDゾーン、そのうちの半分以上がD3の**まま**の状態

3本の施策



学力向上委員会の設立

学力向上シートのお取り組み

参加者：管理職・進路主任・教科主任（国数英）

各学年教科担当が学力向上シートの作成

学力向上シートは学期ごとに更新

D3を減らす取り組みとD2以上の生徒を伸ばす取り組みを考えていく

令和6年度足立東高等学校「学力向上シート」 ※各学年ごとに作成						令和	年	月	日	
全日制	教科			()学年	作成者					
目標の設定(何を) 具体的に数値目標を記入		具体的な取組み 簡潔に「いつまでに」「どのような方法で」「どのくらいまで」「どうする」を記入 ※学カスタンダードや確認テスト、「学びの基盤」、基礎力診断テスト等の関連を明記			成果と課題(年度末) 具体的に数値等を記入	達成度				
【D2以上を伸ばす 取組目標】					(年度末のBゾーン) % (年度末のCゾーン) % (年度末のD1) % (年度末のD2) %					
(年度当初のBゾーン)	%									
(年度当初のCゾーン)	%									
(年度当初のD1)	%									
(年度当初のD2)	%									
		進捗状況(1学期末)		進捗状況(2学期末)						
目標の設定(何を) 具体的に数値目標を記入		具体的な取組み 簡潔に「いつまでに」「どのような方法で」「どのくらいまで」「どうする」を記入 ※学カスタンダードや確認テスト、「学びの基盤」、基礎力診断テスト等の関連を明記			成果と課題(年度末) 具体的に数値等を記入	達成度				
【脱D3に向けた取組目標】					(年度末のD3) %					
(年度当初のD3)	%									
		進捗状況(1学期末)		進捗状況(2学期末)						

教員向けデータ 活用研修

FINE・compassの活用

対象：全教員

目的：今まで結果を返すだけだった状態からの脱却・進路指導への活用

4月にベネッセよりFINE・Compass研修会の実施

データ分析ツールの習熟度は面談時にヒアリング

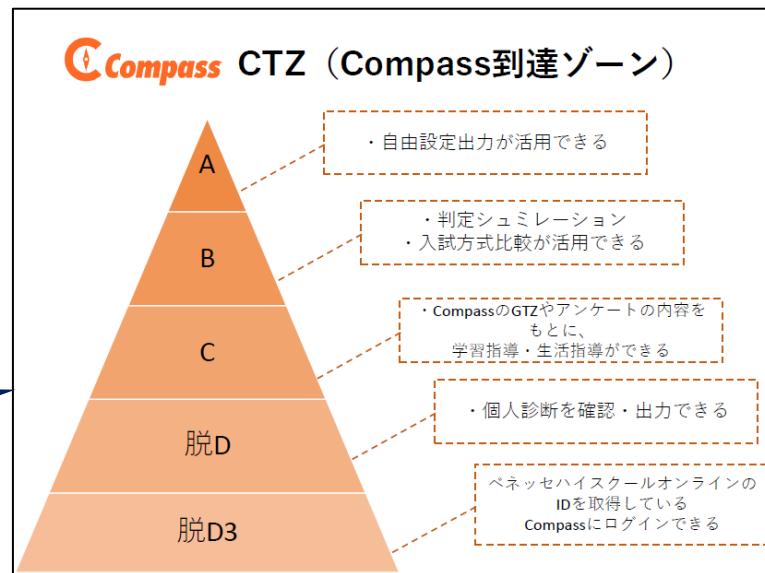
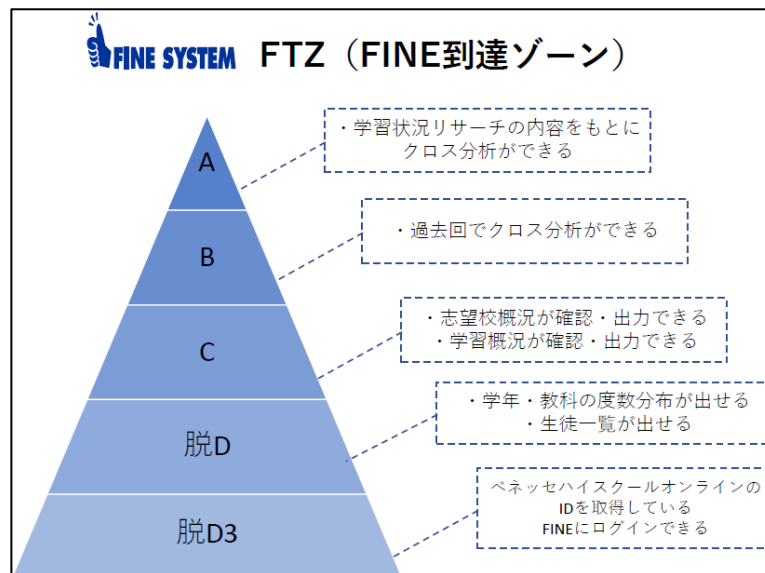
学校独自作成

GTZ：足立東verの進路先に基づいたGTZ表の作成

FTZ：FINE到達ゾーン【校長先生考案】

CTZ：Compass到達ゾーン【校長先生考案】

先生方も
脱D3！



クラスマッチ 生徒向け講演会 の実施

お取り組みの意図・背景

【背景】ほとんどの学校行事がもともとクラスマッチ形式
生徒も団結して取り組む傾向があり、学習に対しても山場として行事化

【目的】

脱D3の意識向上

【結果】

各クラスがそれぞれスローガンを掲げクラスマッチに対して
モチベーションを上げていった結果テスト中に寝る生徒が激減
基礎力診断テスト実施前に授業内でOne-Week-Trialを学習
生徒同士で分からない問題を教え合うなど
学習に対する主体性が育成できた

クラスマッチ（テストの平均点を競い合う）
に向けて生徒にスローガンを考えさせ
動機付けに繋がっている



基礎力診断テストの結果をクラスマッチで
競い合いクラス対抗で高め合っている



←表彰式の様子
校長先生から貰え
大盛り上がり！

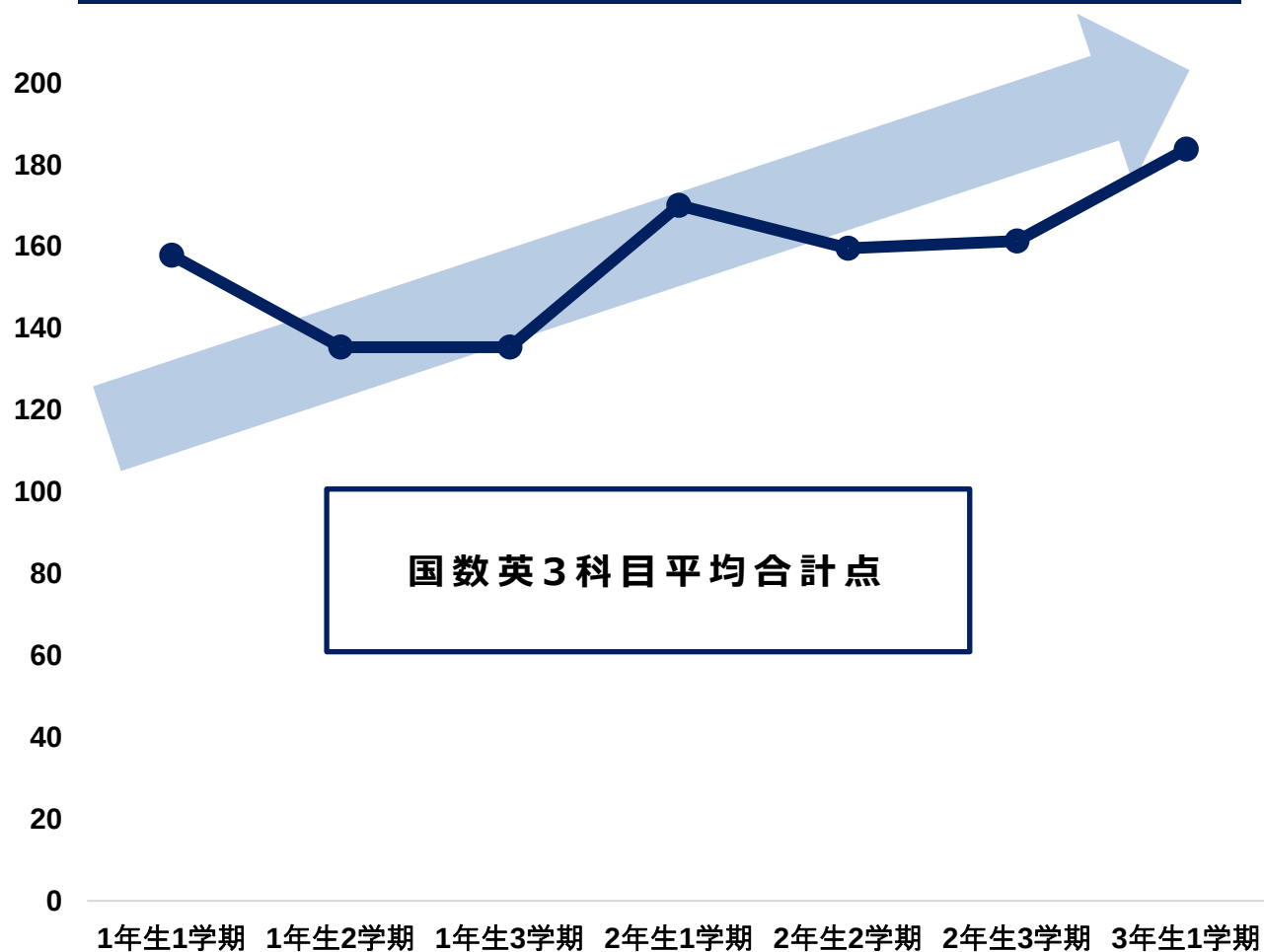
お取り組みの背景

- ・ 語彙力育成や基礎学力育成を目的とし学ぶきっかけとして設置
- ・ 今年度より基礎力診断テスト出題範囲に合わせて課題や問題を掲載



学ぶ機会を日常的に！階段を上がる＝知識が増える
今年度から次回の基礎力診断テストに向けて単語の張替えなど細かな工夫を凝らしている

3年間かけて3教科平均点が25.9点上昇。
日々の学びの効果が顕著に出ている。



2年間かけてGTZがCゾーンに上昇
Bゾーン以上の生徒が4名から31名まで上昇。D3が16%減少。

年度	2022	2022	2022	2023	2023	2023
学校名	足立東	足立東	足立東	足立東	足立東	足立東
学校コード	13315	13315	13315	13315	13315	13315
学年	高校1年生	高校1年生	高校1年生	高校2年生	高校2年生	高校2年生
回	基礎力スタート	基礎力1年1回	基礎力1年2回	基礎力スタート	基礎力1年1回	基礎力1年2回
科目	国語	国語	国語	国語	国語	国語
受験人数	189	182	160	165	157	151
平均点	63.5	54.4	51.8	66.7	63.4	62.1
標準偏差	15.7	16.7	17.7	16.5	17.6	17.6
平均GTZ	D2+	D1-	D1-	D1-	C3-	C3-
満点	100	100	100	100	100	100
GTZ(人数)	単純	累積	単純	累積	単純	累積
A1						
A2					2	2
A3		3	3		5	7
B1		2	5	2	10	17
B2		4	9	2	11	28
B3	4	8	17	7	12	40
C1+	6	10	6	23	7	18
C1-	4	14	6	29	3	21
C2+	2	16	11	40	7	28
C2-	7	23	3	43	11	39
C3+	8	31	5	48	7	46
C3-	15	46	12	60	9	55
D1+	32	78	22	82	12	67
D1-	29	107	18	100	15	82
D2+	19	126	21	121	22	104
D2-	18	144	17	138	25	129
D3+	24	168	18	156	14	143
D3-	21	189	26	182	17	160
B以上	2.1%	9.3%	6.9%	6.7%	25.5%	20.5%
A	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	4.5%	5.3%
B	2.1%	7.7%	6.9%	6.7%	21.0%	15.2%
C	22.2%	23.6%	27.5%	35.2%	30.6%	33.1%
D	75.7%	67.0%	65.6%	58.2%	43.9%	46.4%
D3	23.8%	24.2%	19.4%	17.6%	15.3%	7.3%

更なるお取り組み

民間事業者を活用し、

“学び直し”の先にある“社会的実践力（スキル）”の獲得に向けて

英検講座

デジタルスキル講座（ワード・エクセル・パワーポイント等）

ジョブキャンプ（職場体験）

文書作成講座